

【ねらい】

遠隔で健康観察や連絡ができる。

【ポイント】

- ① 遠隔授業による学びの場の広がり
- ② できることから慣れていく
- ③ アプリを組み合わせる

【活動】朝の会のメニューを考え、配信体験をしてみましよう

新型コロナウイルス感染症による長期の臨時休校の体験により、多くの教職員が遠隔授業の可能性を感じた。

学びの場が教室に限られない。
アイデア次第で様々な広がりが考えられる。

- ▶ 遠隔授業の実施には、
 - ・教員の技術的な準備や授業形態の検討
 - ・児童生徒の端末操作の理解や慣れ
 など、事前の準備が必要。急な準備は難しい。
- 日常の「教育の情報化」の取組で、大きな差ができる。

遠隔授業のはじめの一歩として「オンライン朝の会」に挑戦してみましよう。

「オンライン朝の会」（例）

- ① 健康状態の把握
- ② 生活リズムの維持
- ③ 学習状況の把握
- ④ 課題の指示や説明
- ⑤ 教員や児童生徒間のコミュニケーション

最初から完成形を目指すのではなく、必要なもの、簡単なものから始め、「慣れ」とともに内容を充実させていく。

ステップアップ（例）

健康観察
クイズ
早口言葉
簡単な体操
じゃんけん 等

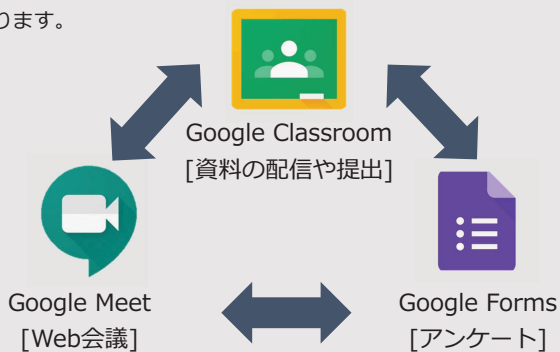


フリートーク
昨日学習したこと
今日学習すること
課題の確認や質問
児童生徒が考えたクイズ
スピーチ 等

※それぞれの内容の目的も意識しておく。

【組み合わせ例】

※内容に合わせて必要なアプリを連携して使うと、できることが広がります。



健康観察は、フォームを使うと、短時間に個別に情報を収集することができます。

【例文】
今後の休校措置に備えて、オンライン朝の会を試行することにいたしました。以下の日程で、学年（クラスごと）に「第1回オンライン朝の会」を実施いたします。今回は、あくまで試行ですので、参加が可能なお子様だけで構いません。

日時：令和2年9月19日土曜日（※4連休の初日）午前9：00～9：10（10分間）
内容：健康観察
その日に楽しみなことの発表（できる人だけ）
先生とじゃんけん大会・クイズ等

方法：ご家庭のスマートフォン、もしくはPC・タブレット端末等を使用して、
当日の5分前に、↓のリンクをクリックしてください。
<https://meet.google.com/lookup/g5vxuonq> → QRコード

準備物： 広告の裏紙などの白紙・黒マジックペン ←クイズに使用
(ミニホワイトボードと、黒ホワイトボード用ペンがあると便利です。)

遠隔授業の実施には家庭の協力が不可欠です。文書等で必要な事項を案内し、理解をしていただく必要があります。

朝の会のメニューを考え、配信体験をしてみましよう。